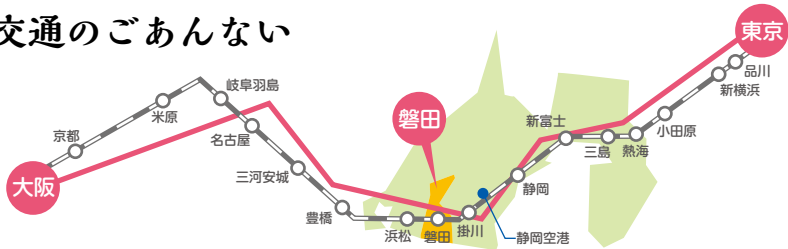


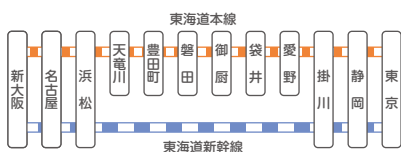
ボクと一緒に  
歴史のロマンを  
探してみようよ！



## 交通のごあんない

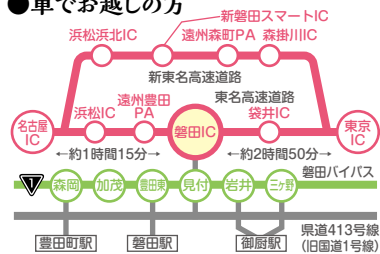


### ●電車でお越しの方



東海道本線 浜松～磐田(12分) 磐田～掛川(14分)  
東海道新幹線 東京～掛川(こだま号約1時間50分)  
新大阪～浜松(のかり号約1時間25分・こだま約2時間)

### ●車でお越しの方



★磐田の名所・観光のこと、お気軽にお問い合わせください。

### 磐田市観光協会

- ◆〒438-0078 静岡県磐田市中泉1-1-5 (JR磐田駅北口)
- ◆TEL0538-33-1222 ◆営業時間 9:00～18:00
- ◆休館日 月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合はその翌日。12/29～1/3)
- ◆<https://kanko-iwata.jp>

携帯電話でイベント  
情報を確認できます



ありがた歩記

磐田  
福田  
地区編

磐田の寺社をぐるぐると散策  
織物と漁師のまちの歴史を辿る



# 福田地区 ありがた歩記

あるき

みんなに良い  
ご縁がありますように...

今回は、港町として栄えた福田地区の寺社仏閣を中心に紹介します。元島遺跡より、弥生時代から単国時代末期の集落からかえ、古くからここにも人が住んでいたことがわかります。海や川のそばということもあって、すごく古い建物などは目に付きませんが、人にまつわる伝説や昔話、郷土のために尽力した偉人たちの功績にたくさん触れられました。人のために何かするってステキだにー♪



©磐田市  
しゅべり

## お寺・神社巡りがもっと楽しくなる!!

### 和尚さんに聞いてみよう!!

お寺巡りが今とっても人気ですが、お寺や神社を訪れてみなさんは何をしますか? お願い事をしたり、仏像をみたり...。せっかく訪れたのだから、和尚さんとお話してみませんか? 和尚さんは、お寺のこと、仏教のこと、地元のこと、いろんなことをたくさん知ってるんですよ。和尚さんを見つけてぜひお話してみましょ。境内で誰かにあったら挨拶しましょね!

和尚さんって怖くないかなー  
座禪させられて  
カーッ! ってやられちゃうよ!



大丈夫!  
和尚さんは  
楽しくて  
やさしい人  
ばかりだよ!



お寺はみんなの場所で  
大切な文化財もたくさん  
あるから丁寧に参拝しよう!



### 観光ボランティアさんに 教えてもらおう!

ふれあいガイドさんって知ってますか? なんとな〜知ってるけど...って方がほとんどかと思えます。ガイドさんは、観光スポットや名所・旧跡などを一緒に行って案内してくれるんです。地元で伝わるお話やパンフレットには載ってない裏話などなど...おもしろいお話がたくさん聞けますよ〜。2週間前までに電話かFAXでお申し込みください。磐田の魅力をたっぷりお届けします! くわしいお問い合わせは、磐田市観光協会 ☎0538-33-1222まで

地元の人も  
市外から訪れた人も  
誰でも案内します!



観光ボランティアさんとイベントに参加された方々&しゅべり

## おすすめの巡り方紹介

郷土愛と信仰を感じる寺社巡り

### 福田湊の守り神

重厚な山門から入り、広々とした境内には本堂や観音堂をはじめ、お地藏様や観音様、錨(イカリ)を供養されていたり、見どころが多く、あっという間に時間が過ぎてしまいます。観音堂の横の「新地獄絵図」はつい見入ってしまいました。

### 地元から愛され続けるお寺

慶昌寺の山門をくぐると、大きな松が目飛び込んで来ます。きれいな境内と地元の方のお参りがたえない風景に心もほっこりします。江戸相撲の力士天津風のお墓も、子孫の方により守り続けられています。

6 地図番号

龍法院の涅槃像



徒歩  
約25分

2 地図番号



徒歩  
約5分

4 地図番号

信仰心が復興させた  
妙福寺



徒歩  
約5分

3 地図番号

癒やされる境内  
慶昌寺

### ちょっと変わった涅槃像

手入れの行き届いたとてもきれいな境内、地域の方から寄進された美しい仏像に息を呑みます。よく目にする、手で頭をささえている涅槃像とはちょっと変わった、ポーズの違う涅槃像にも会えます。

### 人々の信仰が伝わってくる

境内に入るとすぐの近代的な本堂には、本尊を始め、生前に熱心な法華宗の信者だった清正公などが祀られています。向かって左側に祀られている遠州一の大きさの鬼子母神は船の材料から一刀彫りされたものです。

## イベントに参加してみよう!

磐田市観光協会では、いろいろなイベントを企画中!!ぜひ、いろんなイベントに参加してみましょ!磐田駅前の観光案内所では磐田にとっても詳しいコンシェルジュが皆さんの旅のアドバイスをしてくれます。観光の際はぜひお立ち寄りください。

★季節のイベントなどの情報がたくさん掲載された磐田市観光協会のホームページも要チェック!!



いろんなイベントが  
たくさんあるんだね!



観光案内所で  
教えてくれるよ!



# 福田地区周辺の寺社巡り。



横須賀藩が太田川河口に築いた福田湊。江戸中期から明治初期にかけて発展しました。湊町の歴史と風情を感じながら歩いてみませんか。

船着きの南側、しらす漁で知られる福田漁港。今回は旧福田町あたりを紹介いたします。横須賀藩により築かれた福田湊は、江戸時代から明治時代にかけて発展しました。漁業、製塩の他にも織物の歴史も古く、帆船の帆布の製織も行われていました。地域の信仰も、やはり海上の安全や大漁を願う人々の手でだんだん盛大になったお祭りや誰かの身の安全を願う信仰、郷土の偉人の業績が大切に守られているところ、心が癒やされるようでした。



## 1 六社神社

ROKUSYAJINJYA

**祭神** 底津綿津見神・中津綿津見神・上津綿津見神・底筒之男命・中筒之男命・上筒之男命  
**ご利益** 海上守護など

海上の守護神(六柱)を祀る福田地区の氏神様です。勧請由来などは不明ですが、400年前に創建されたと言われています。毎年10月に祭りが行われます。戦時中はたった2台だった屋台も今では各町内ごとにあります。見どころは中川通りで各町の屋台が集結する場面です。昔は屋台同士がぶつかりあう様子から「けんか祭り」と言われ、激しいものであったそうで、今でも当時のなごりが見受けられます。

## 2 観音寺

KANNONJI

**宗派** 曹洞宗  
**ご本尊** 延命地藏

永禄2年(1559)開山。境内に祀られている聖観音菩薩は明応7年(1498)に福田海岸にあがったものと伝えられ、以来村や遠州地方の守り神として崇拝されました。11月の17夜の縁日には参拝者でにぎわい、午の年には大開帳が行われています。これらの行事は室町時代より続いているということです。境内には、力善右衛門が江戸から一人で担いで持ってきたと伝わる手水鉢や亀塚などがあり見どころの多いお寺です。

## 3 慶昌寺

KEISYOUJI

**宗派** 曹洞宗  
**ご本尊** 馬頭観世音菩薩

正保4年(1647)に大庭太郎兵衛という人が先祖供養のために僧を呼び庵を建てたのがはじまりです。その後、村人の協力で徐々に寺としての体裁が整い、慈眼祥雲大和尚が招かれて開山となりました。本尊の馬頭観音は、村人の港から各地への物資運搬の交通安全や厄難消除を願って祀られました。境内の等身大の水子地藏や本堂前の大きな松が目を引きま。

## 4 妙福寺

MYOUFUKUJI

**宗派** 日蓮宗  
**ご本尊** 日蓮上人

明治21年に満勝寺の日猷上人が加藤清正公を奉安して説教庵を建立したのがはじまりです。(清正公はおせいしょうこうさまと呼ばれ地元の漁師や織物を生業とする人から信仰を集めました。)一時期は衰退し廃寺寸前にまでなりましたが、平成26年に山号を善徳山と改め、再建しました。現在は、御本尊の日蓮上人を安置するほか、清正公大神、法華経の守護の七面大明神、三面大黒天や鬼子母神をお祀りしています。

## 5 長泉寺

CHOUSENJI

**宗派** 曹洞宗  
**ご本尊** 薬師瑠璃光如来

永禄年間にはすでにあったようですが、戦国乱世で荒廃してしまいました。慶長元年(1596)になって海雲という僧侶によって再建され、長泉庵と名付けられました。その後、伊奈備前守から寺領2石を受け、慶長10年(1605)に、長泉寺と改めました。本尊の薬師如来は寅薬師とも呼ばれ、寅年にはご開帳が盛大に行われます。明治初期頃に豊川稲荷が祀られ、豊川講が行われていた時期もあったそうです。今でも信仰する方の参拝があります。

## 6 龍法院

RYUHOUIIN

**宗派** 曹洞宗  
**ご本尊** 十一面観世音菩薩

文禄2年(1593)に建立されましたが後に荒廃し、全久院の昌室文久和尚が再建しました。以来、全久院の末寺となりました。境内の延命地藏は、昔この辺りに疫病が流行して熱病で多くの人が亡くなったとき、この村人はこのお地藏様に祈り続けた結果、みんなが全治しました。それ以来村人はこのお地藏様に感謝し、毎年8月にお祀りを行っています。このときの線香の灰をいぼにつけると必ず治ると言われました。

## 7 寿正寺

JYUSYOUJI

**宗派** 曹洞宗  
**ご本尊** 能化地藏大菩薩

天正3年(1575)この地にあった地藏堂が松秀寺の末寺となり、伽藍を建立し寺号を寿正寺としました。境内にある薬師如来は寺より300mほど東にお堂があり、武田の家臣が堂守をしていましたが、徳川との戦いでお堂が焼失してしまい、慶長9年(1604)に境内に移されたものです。この薬師様は「遠江四九薬師霊場」の四四番札所として参拝者が訪れています。

## 8 宗次寺

SOUJJI

**宗派** 曹洞宗  
**ご本尊** 聖観音菩薩

天文元年(1532)に高野山の僧侶、南山玄甫が弘法大師の真作、聖観音菩薩を本尊にして寺を建てたのがはじまりと伝えられています。元亀元年(1570)に武田信玄が鷹狩の途中にこの地を訪れ、庫裏、総門などの建立を命じたと伝えられています。のちに火事により諸堂が焼失してしまいましたが、再建して寺号を宗次寺から宗次寺に改称しました。現在の本堂は明治時代に建てられたもので、茅葺きから瓦屋根に葺き替えられました。

## 寺田市十

別珍の発明者!?

寺田市十は、織物のベッチンを発明した人物です。市十は、福田に生まれ、福田で盛んだったコーデロイの織物工場を始めました。しかし、「みんなと同じことをしているとずっと困る時がくる」と考え、よりきれいな布の織り方を研究し始めました。失敗ばかりで、周りの者からは嘲笑を受け、家の財産もほとんど使ってしまった。生活にも困るようになった市十でしたが、ついに新しい織り方のできる機械を開発し、福田地域にベッチンの製造が始まりました。

## ドルチェ倉庫 と 洋館付住宅

ドルチェ倉庫(旧丸四織物合名会社倉庫)は、昭和前期に旧織布工場の綿保管倉庫として建てられました。内装は改装されていますが、外観はほぼ建築当時の姿を残しています。現在では音楽ホールとして地域の人の憩いの場となっています。その敷地の北側にあるのが、織物工場主の住宅兼事務所だった建物です。木造の2階建てで日本家屋に洋館を付属させた「洋館付住宅」といわれる、大正時代から昭和初期の関東地方に多く見られた和洋折衷の住宅様式です。県内ではわずかに残された事例の一つで大変貴重な建物です。どちらも国の登録有形文化財です。



ドルチェ倉庫

寺田家住宅主屋(住宅兼事務所)

## 旧家大竹家!!

清大様と呼ばれる大竹家は、江戸時代より前から続く旧家といわれています。村の役職を務めた立派な人が多く西尾隠岐守より御用頭取を命ぜられ苗字帯刀を許されました。今も残されている建物は間口18m奥行き8mととても立派な建物で安政の大地震でもびくともしなかったそうです。

